

土砂災害から守ろう みんなの地域

日ごろの備えが大切です

日本の年間降水量は約1,800^{ミリ}で、世界平均の2倍になります。特に梅雨期や台風時には局地的な集中豪雨が発生しやすく、洪水や土砂災害などによる大きな被害をもたらします。

日ごろから、家の周りや地域の危険箇所を確認し、家族や地域で安全対策を話し合っておきましょう。

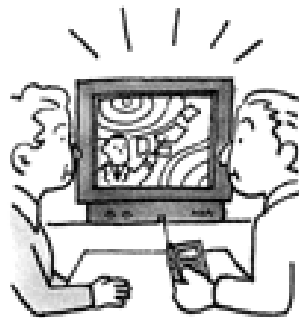


注意報・警報に注意

気象情報の確認を

テレビ、ラジオ、防災行政無線などで伝えられる注意報や警報に注意し、さらに台風や豪雨など気象の変化に日ごろから関心を持つようにしましょう。

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20^{ミリ}以上、または降り始めから100^{ミリ}以上になったら要注意です。



地域の危険箇所を

確認しましょう

大雨や台風があった時、自宅の周辺は安全ですか。近くの川も洪水やがけ崩れなどの危険はありませんか。家の周りや近所を見回して、危険な所はないか、確認しておきましょう。

危険区域図は、日野総合事

務所県土整備局や役場で確認することができます。

避難場所や

避難方法を話し合おう

災害の備えについて家族や地域で話し合ったり、防災訓練をしたりするなど、日ごろの防災活動が大切です。またあらかじめ、地域の避難場所や安全な避難路を家族みんなで確認し合っておきましょう。高齢者や子ども、体の不自由な人がいる場合は、地域の人たちが手伝って避難活動を行えるよう、日ごろからの協力体制を築いておくことも必要です。



緊急時の

必需品を用意

非常用の飲料水、食料、持ち出し品（懐中電灯・ラジオ・衣類など）を、常に家庭に用意しておきましょう。

災害が起きる前には

危険信号が

土砂災害などが起きる場合には、次のような危険信号と思われる変化が現れます。
地すべり

沢や井戸の水が濁る
地面にひび割れが出る
斜面から水がふき出す
家や樹木、電柱が傾く
がけ崩れ

がけに割れ目が見える
がけから水がわき出る
がけから小石が「ばらばら」と落ちてくる
がけから木の根が切れるなどの音がする

土石流

山鳴りがする
急に川の流れが濁り、流木が混ざる

雨が降り続けているのに川の水位が下がる
腐った土の臭いがする

危険を確認したら

すぐに連絡を

危険信号を確認したらすぐに連絡しましょう。

連絡先

鳥取県日野総合事務所県土整備局（電話72 0321）
又は役場（電話72 0331）